

# 税について

中宮祠小五年 大藤真弓



わたしが、学校から帰って来るとちゅう道路の間の線をひく車が、けいさつの前にとまっていた。くさいと思って息を「はっ」ととめ、すこしはなれた場所まで走っていた。

「ああよかった。でも不思議だなあ、あの人はあんな仕事をしてどこからお金をもらっているのだろう。」

家について机にむかって考えてみた。わたしは、おやつを食べているときもそのことがとても気になっていた。

二階の自分のへやにもどってまた考えてみた。そして不果議なことに気がついた。線をひく仕事をやってた人たちと同じように、どこからお金をもらっているのか、わからない仕事をやっている人がいるという

# 税について

小来川小六年 伊原美紀子



いつだったか父と母で次のようなことを話していたのを耳にしたことがあります。

「ずい分税金をとられるね。」  
「わずかの月給なのに本当に参るよな。」

うことだ。例えば、けいさつの人、市役所の人たちだ。みんなほんとうにどこからお金をもらっているのだろうと、ますます不思議になった。

もうわからなくなったので、母に聞いてみることにした。母は、

「その人たちは税金と言うお金からおきゅうりょうをもらっているのよ。そうそう学校で働いている人たちもそうよ。税金は、お母さんたちみんながだしているのよ。そのお金を市役所で集めているのよ。それに市役所では、そのお金で、道路のそうじやゴミのしよりをしているのよ。税金をみんながださなかつたら学校で勉強もできないし道路もゴミだらけになってしまうわ。税金は、みんなの生活になくてはならない大切なお金のよ。」と教えてくれました。

わたしはこの話をきいて、とてもいい勉強をした。もつともつと税金について、聞いたり調べたりして税金をよくしっておこうと思った。

「何にでも税金なのね。」  
私は、税金といってもあまりよく分かりません。

でも、もしも税金というものがなかったら、私たちの生活は、国は、どうなるでしょう。税というのは、地域の生活環境を整えるために、また、国のためにもなくてはなら

ないものではないかと思えます。  
この作文を書くために、税について書いてあるものを読みました。

税とは、おさめるもの。その税には、品物を買ったときの税、お父さん、お母さんたちが働いて得た収入によって納める税金など、いろいろなものがあるようです。

その税金がまた、私たちのため、県や市など、いろいろなところで役に立っていることを知りました。

私たちが通っている学校、幼稚園、保育所、または、市役所、消防署、警察署などの費用や、道路、橋、遊園地など、よりよ

# 税について

野口小五年 牧野明美



税と言う言葉には、使い方が数多くあるそう。その中の税金と言う物は、どんな物なのだろうか。

税金と言う物は、父や母が働いて、もらったお金をおさめた物だ。

その税金の、使い道は、学校などを立て直したり体の不自由な人や恵まれていない人たちのために使われているそう。

父や母など、税金をおさめている人にとって税金と言う物はどんな物なんだろう。父からは「国を作っていくために必要なお金」と言った。

母からは「お金を出し合って、みんなが平和にくらせるようにする物」と言っている。大人の人、つまり税金をおさめている人

い環境にするために、税金の一部が利用されていることが分かりました。

体の不自由な人、お年寄りだけの家庭、生活に困っている人たち。そういう方々を援助してあげるのも、税金の大切な役割ということも理解できました。

税金。その税金を私たち国民が納めなかつたら、やはり、日本の国は、どこかおかしいことになってしまっているのではないのでしょうか。

ですから、税金を納めるということは、一つのきまりみたいなもの。義務だと言え

るのだと思います。

大人の人と言っているように、確かに私たちはその税金に助けられている。なぜなら、税金の使い道を考えてみれば、わかる。ひとつこう言う物があつたらどう。

「学校などを、立て直す。」  
私達は今、学校に通っている。学校がふ

るくなつたりしたら、立て直してもらっているではないか。その他もたくさん税金にたよって平和な生活をおくっている。

これからは物を大切に少しでも大人の人に感しゃして、自分たちで平和な生活をおくれるように小さな事でも何事も大切にしていかねばならない。

そして私達が大人になったら、恵まれな